

【報道関係者各位】

2020年2月3日

オイシックス・ラ・大地が運営する保育園向け食材宅配サービス 保育業界におけるICTトップシェアのコドモン社と連携開始 ～保育園事業全体の業務負担軽減をサポートする取り組み強化～

安心・安全な農産品や加工食品、ミールキットなどの食品宅配を展開するオイシックス・ラ・大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平、以下「当社」）が運営する保育園への食材提供事業サービスは株式会社コドモン（本社：東京都港区、代表取締役：小池 義則）の提供する保育園をはじめとするこども施設向けICTシステム（※1）「CoDMON(コドモン)」と連携を開始します。この連携により、当社保育園向け食材宅配サービスでの食材発注がコドモンの管理画面上にてワンクリックで可能となり、これまで当社が取り組んできた、保育園従事者の業務負担をより軽減することが期待されます。

（※1）ICTシステム：「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指す。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスの総称

■ 保育園事業のサポートとなるコドモンとの取組

保育園に従事する方の業務負担の課題は多く、多くの保育園にとって運営上の悩みになっています。今回のこの連携により、コドモン管理画面上で、食材発注がワンストップで可能になり、発注先の確保も可能になります。保育事業において業務負担の軽減や、人的リソースの確保が可能になることで、職業としての魅力の向上や離職率の改善も目指すことができます。保育事業全体としては、本来こどもに向き合う時間を確保でき、通園するこどもにとってもより良い環境を構築できます。また、給食の情報を、コドモンの保護者アプリ（※2）を通じて保護者へ情報共有ができます。食材発注と合わせて当社が提供する献立も連携でき、より業務の負担軽減につなげることが可能になります。

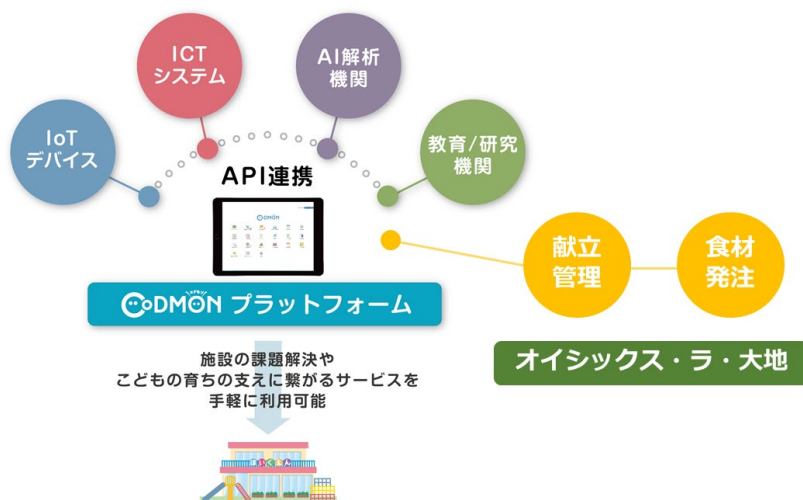
導入は、本年2月17日より東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県において先行して開始し、順次全国に拡大する予定です。

（※2） 保護者アプリ：施設と保護者のコミュニケーションが簡単に行えるコドモン独自の保護者向けアプリ

〈オイシックス・ラ・大地とコドモンの連携〉

- ・当社の食材発注システムとコドモンのICTシステムの連携により保育従事者の業務負担を軽減
- ・保育従事者の業務負担軽減により、職業としての価値向上や離職率の改善
- ・食材宅配とICTシステムの連携による業務省力化により子供にとってより良い教育環境を構築できる
- ・オイシックス・ラ・大地の安心安全な食材をより多くの保育施設に提供でき、食育の推進につながる

■ オイシックス・ラ・大地×コドモンの連携



本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：横溝

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）

本事業の連携について有識者コメント／

東京家政学院大学 人間栄養学部
酒井治子（さかい はるこ）教授

「子どもが保育園でどんな風に過ごしどんな食事をしているのか」が気になる保護者向けのサービスを保育園でできるのはとても大きい。
今回2社が連携することで、保育園で働く栄養士の発注業務の負荷軽減につながるだけでなく、安心安全な食材で作った給食を提供でき、かつその内容を保護者に伝えることができる＝保護者支援にもつながると思うので今後のサービス展開にも期待している。



株式会社コドモン について

保育業務支援システムの開発・提供。2021年1月末時点で、全国約6,800施設、保育士約12万人が利用。全国101の自治体で導入および実証実験の導入が決定。導入施設数・自治体導入施設数・契約自治体数でシェア1位（2021年1月株式会社東京商工リサーチ調べ）ご参考：2020年4月1日 特定地域型保育事業を含む全国保育所数は37,652園

◆サービスHP：<https://www.codmon.com/>



こども施設向けICTシステム「CoDMON」について

保育園や幼稚園で働く先生と保護者に対して、こどもたちと向き合うゆとりを持っていただくための各種支援ツールを提供するSaaS（※）3です。

園児情報と連動した成長記録や指導案などをスマートに記録する機能をはじめ、登降園管理や、保護者とのコミュニケーション支援機能など、先生の業務負担を大幅に省力化しながら、保育の質を高める環境づくりの支援をしています。また同時にベビーセンサーなどのIoTデバイスとAPI連携するなど、園内のICT/IoT環境を統合管理できるソリューションを提供しています。保護者アプリでは施設との連絡機能のほか、こどもの成長管理や写真アルバム、保育料の支払い機能といったサービスを展開しています。

（※3） SaaSとは、ネットワークを通じて顧客にアプリケーションソフトの機能を必要に応じて提供する仕組みのこと

オイシックス・ラ・大地株式会社について

オイシックス・ラ・大地株式会社（代表：高島宏平）は、有機・特別栽培野菜、添加物を極力使わない加工食品など安心・安全に配慮した食品の宅配サービスを「Oisix」「らでいっしゅぼーや」「大地を守る会」の3ブランドで展開しています。運営する「Oisix」では2013年7月に、必要量の食材とレシピがセットになった、主菜と副菜の2品が20分で完成するミールキット『Kit Oisix』を販売し、シリーズ累計出荷数は7,000万食（2020年12月時点）を突破しています。

当社は「これからの食卓、これからの畑」を理念に掲げ、食に関する社会課題をビジネスの手法で解決する事業を推進しています。

オイシックス・ラ・大地の保育事業向け食材宅配サービスについて

2015年より保育園施設への食材宅配としてスタートしました。受発注システム「おまかせぼーや」を導入し、食材、必要人数、納品日を入力するだけで、受発注が完了します。また、2017年2月からは、同システムを導入いただいた園に管理栄養士による献立提供と栄養相談のサービス提供を無償で行っています。また、食育のサポートも推進しています。保育園事業の人材不足や従事者の業務負担など多くの課題があり、待機児童等の社会問題を抱える保育園の運営の一助となれればと考えています。

サービスサイトURL：<https://www.oisixradaichi.co.jp/services/hoikuen/>

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：横溝

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）